

Title	表紙ほか
Author(s)	
Citation	財政学研究 (1996), 21
Issue Date	1996-10-20
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2433/155312">http://hdl.handle.net/2433/155312</a>
Right	
Type	Others
Textversion	publisher

The Study Papers on Public Finance

# 財政学研究

第21号 1996年10月

特集 開発と環境の経済学

巻頭言	鐘ヶ江 管一	震災復興の行財政研究へのメッセージ
特集 1 シンポジウム	対外開発援助における開発と環境の経済学	
	鷺見 一夫	日本の援助が引き起こす途上国の環境問題
	高木 保興	対外援助と途上国のインフラ整備
	白石 幸生	北九州市における環境と開発の経済理論
特集 2 シンポジウム	雲仙普賢岳災害と復興プロセス	
	井上 完爾	雲仙普賢岳噴火大災害に取り組んで
	西堀喜久夫	阪神・淡路大震災と雲仙・普賢岳噴火災害
研究論文	森 晶寿	日本の援助プロジェクトにおける環境アセスメント
書評	阪本 崇	Musgrave et al. eds, Taxation and Economic Development among..
	井本 喬	Buchanan, J. M., Ethics and Economic Progress.
学会動向	橋本 了一	日本財政学会第52回大会
	多田憲一郎	日本地方財政学会第4回大会
文献抄録	財政学及び公共政策に関する外国文献抄録	

財 政 学 研 究 会

The Study Papers on Public Finance

# 財政学研究

第21号

1996年10月

特集 開発と環境の経済学

財 政 学 研 究 会

# 目 次

巻 頭 言	震災復興の行財政研究へのメッセージ	鐘ヶ江 管一	1
特 集 1	シンポジウム 対外援助における開発と環境の経済学		3
	日本の援助が引き起こす途上国の環境問題	鷺見 一夫	4
	対外援助と途上国のインフラ整備	高木 保興	12
	北九州市における環境と開発の経済理論	白石 幸生	19
	コメント 環境保全型援助への転換と 国民の財政権・地方分権	鈴木 茂	26
	コメント 開発における「ミクロ」と「マクロ」 の視点はいかに融合しうるか	森 晶寿	30
特 集 2	シンポジウム 雲仙普賢岳災害と復興プロセス		
	雲仙普賢岳噴火大災害に取り組んで	井上 完爾	33
	阪神・淡路大震災と雲仙・普賢岳噴火災	西堀喜久夫	39
研究論文	日本の援助プロジェクトにおける環境アセスメント	森 晶寿	42
書 評	Musgrave et al. eds, Taxation and Economic Development...	阪本 崇	64
	Buchanan, J. M., Ethics and Economic Progress.	井本 喬	67
学会動向	日本財政学会第52回大会	橋本 了一	69
	日本地方財政学会第4回大会	多田憲一郎	72
文献抄録	財政学及び公共政策に関する外国文献抄録	岸本 充生	75

## 財政学研究会会員総会議決事項の案内

1996年7月27日に開かれた会員総会において以下のことが決定されましたのでお知らせいたします。

### ①財政学研究叢書の発行について

財政学研究会では、本年より財政研主催の夏期合宿および秋期シンポジウムの成果、そして会員のみなさまの業績をまとめて、原則年に1回のペースで、財政学研究会編集の叢書としてナカニシヤ書店から出版していく運びとなりました。

現在はその第1号として、植田和弘編集の『現代財政学の新展開』が校正途上にあり、近日中に出版する予定です。また第2号には、1995年度秋期シンポジウム「医療・年金・福祉と税制改革」、1996年度秋期シンポジウム「地方分権と行財政改革」の成果を収録する予定です。なお第1号の内容につきましては以下の通りとなっております。

### 『現代財政学の新展開』目次

- |                                |               |
|--------------------------------|---------------|
| ・はじめに                          | 植田和弘(京都大学)    |
| ・「柔らかな分権化」への国際潮流と日本            | 重森 暁(大阪経済大学)  |
| <br><b>第Ⅰ部 税制改革と地方分権</b>       |               |
| ・地方税制の国際比較                     | 舟場正富(神戸商科大学)  |
| ・地方財政と資産課税                     | 川瀬光義(埼玉大学)    |
| ・地方分権と地方消費税                    | 伊東弘文(九州大学)    |
| ・日本型税制改革をめぐって                  | 山本栄一(関西学院大学)  |
| <br><b>第Ⅱ部 非営利組織と行財政システム</b>   |               |
| ・非営利団体の機能と社会的課題                | 寄本勝美(早稲田大学)   |
| ・財政学とソーシャル・エコノミー               | 高島 博(神戸学院大学)  |
| ・非営利組織と開発                      |               |
| — 人間環境開発報告 1993 を中心に —         | 北村裕明(滋賀大学)    |
| <br><b>第Ⅲ部 環境と開発をめぐる税・財政問題</b> |               |
| ・ピグー税の再検討                      | 植田和弘(京都大学)    |
| ・地方自治体における環境税                  | 諸富 徹(京都大学大学院) |
| ・経済発展戦略と財政改革                   | 森 晶寿(京都大学大学院) |

②会費の改定について

財政学研究叢書の発行にともなって、会員総会では会費をこれまでの年 3000 円から年 5000 円へと変更することが決定されました。これまでは会費 3000 円に対して『財政学研究』を年1冊送付させていただいておりましたが、今後は会費 5000 円に対して『財政学研究』および財政学研究叢書をそれぞれ1冊ずつ送付させていただくことになります。

③『財政学研究』編集体制の変更について

『財政学研究』の編集体制を、本年度より以下のように変更することが了承されましたのでご報告いたします。

旧体制

編集代表 島 恭彦

事務局長 池上 惇

編集委員 坂井昭夫, 植田和弘, 北村裕明

新体制

編集代表 池上 惇

事務局長 植田和弘

編集委員 坂井昭夫, 北村裕明

## 編 集 後 記

『財政学研究』では第 20 号から統一研究テーマを設定するという試みを始めましたが、今回のテーマは「開発と環境の経済学」となっております。環境と開発を主題としている点では第 20 号と共通しておりますが、前回は“環境”に重点を置いたものであったのに対し、今回はむしろ“開発”に重点を置くところにその特徴があります。その結果として、日本国内だけでなく、アジアの発展途上国を中心に広く世界に目を向けた特集となったことも特筆に値することと思われます。

また、同じく前回から試みられてきた編集作業の内部化をさらに進めると同時に、研究室内での編集技術の向上を図ることにより、即時性が高くかつ印刷物としての面から見ても高品質な『財政学研究』を皆様にお届けすることが可能となりました。いまだ、不十分な点があるかは存じますが、今後ともより一層の努力を積んで行く所存でありますので、皆様のご支援ご協力、そして何よりも研究成果の寄稿を頂きますよう、よろしくお願い申し上げます。

1996 年 10 月吉日

編集担当 阪本 崇

(京都大学大学院博士課程)

財政学研究(スタディーペーパー) 第 21 号

1996 年 10 月 20 日発行

編集・発行 財政学研究会

編集代表 池上 惇

事務局長 植田和弘

編集委員 坂井昭夫・北村裕明

事務局 〒606-01

京都市左京区吉田本町

京都大学経済学部財政学(植田)研究室

TEL. 075-753-7531(内線 3454)

FAX. 075-753-3492

印刷 田中プリント(株)

The Study Papers  
on  
**PUBLIC FINANCE**

No.21

Oct-96

**Special Issue: Economics on Development and Environment**

<b>Message</b>	Kan'ichi KANEGAE	Message to Fiscal Analysis on the Disaster Recovery	1
<b>Symposium 1: Economics of Development and Environment on Foreign Aid: Towards Assistance for Sustainable Development</b>			
	Kazuo SUMI	How have Japanese Foreign Aid Projects Caused Environmental Degradation in Developing Countries?	4
	Yasuoki TAKAGI	The Role of Foreign Aid in Infrastructure Construction for Economic Development	12
	Yukio STRAISHI	Lessons from Pollution Prevention Policy in Kitakyushu City	19
<b>Symposium 2: Recovery Process from Natural Disaster: Case Study of Unzen-Simabara</b>			
	Kanji INOUE	Unzen-Simabara Disaster: How Have We Dealt with?	33
	Kikuo NISHIBORI	The Role of Community in Disaster: Comparative Analysis of Hanshin-Awaji and Unzen-Fugendake	39
<b>Articles</b>	Akihisa MORI	International Comparison of Environmental Assessment for Foreign Aid Project	42
<b>Review</b>	Tadashi SAKAMOTO	Musgrave et al. eds, Taxation and Economic Development..	64
	Takashi IMOTO	Buchanan, J. M., Ethics and Economic Progress.	67
<b>Trends</b>	Ryouichi HASHIMOTO	The 52nd Congress of Japanese Association of Fiscal Science	69
	Ken'ichiro TADA	The 4th Congress of Japanese Association of Local Fiscal Science	72
<b>Abstracts</b>	Articles on Development and Environment Published in Foreign Periodicals		75

Edited by  
**ZAISEIGAKU-KENKYUKAI**  
(Kyoto, Japan)